

教育委員会定例会会議録

開催日時	平成30年 7月 4日 (水) 午前9時40分
開催場所	木城町総合交流センターリパリス1階会議室
出席委員等	委員 原 朋輝 委員 柄本奈津美
	委員 鳴海 良廣 委員 牛田 裕子
	教育長 中竹 聖子
欠席委員	なし
上記以外の出席者	教育課長 西田誠司 補佐 小嶋一洋 社会教育係長 白岩修 給食センター係長 渡邊千里 傍聴者 倉永慎一評価委員、外山みつ子評価委員
・教育委員会定例会の開催	
議長選出：中竹教育長に議長をお願いしました。	
議題及び議事	
(1) 7月期定例会会議録署名委員の指名 (中竹教育長・柄本委員)	
(2) 6月期定例会会議録承認について (中竹教育長・原委員)	
事前に送付していた6月期定例会議事録について、承認され、両名において署名	
(3) 事務局報告	
① 教育長報告	
・ 6月 1日 (金) 木城町福祉スポーツ大会 (町体育館)	
町内の高齢者や障害者が一同に集まるスポーツ大会に参加しました。内容も和気あいあいで開催されました。年々参加者が減少しているとのことでした。	
・ 6月 2日 (土) みやざき県民総合スポーツ祭総合開会式 (宮崎市)	
児湯地区選手団と事務局職員が一緒に行進し参加しました。	
・ 6月 3日 (日) みやざき県民総合スポーツ祭 (アーチェリー大会) (山塚運動広場)	
今年で3回目の開催になりますが、天候にも恵まれてスムーズに開催されました。テントの準備や芝の管理についてアーチェリー協会の方々から感謝を受けました。	
・ 6月 8日 (金) ~14日 (木) 6月期定例議会 (議場他)	
文化財処分問題に係る和解等の議案について、関係者12名のうち和解の同意を得られた8名について、原案どおり可決していただきました。一般質問については、3名の方々が質問されました。詳細につきましては、議会報により確認いただきたいと思います。	
・ 6月25日 (月) 東児湯教科書採択関係協議会 (高鍋町)	

教科書採択に係る事務局を従前は西都市が行っていましたが、来年度から西都市と東児湯5町が事務局を交代制による持ち回りで開催することが決定し、本年度は西都市、来年度は高鍋町、以降は西都市、新富町という具合に決定しました。教科書の変更等がある年の前年に開催しますので、予定では木城町は平成39年度となります。今月12日に開催されます第2回教科用図書児湯郡採択地区協議会において、正式に決定される予定です。

- ・ 6月29日（金）国民文化祭全国障害者芸術文化祭木城町実行委員会設立総会（2階会議室）  
会長は町長になります。平成32年度宮崎県で開催されます標記大会におきまして、全26市町村が関連行事として取り組むものです。
- ・ 6月29日（金）平成30年度第1回日向新しき村100周年記念事業実行委員会（2階会議室）  
記念事業に係る取り組み等について協議を行いました。詳細は、後ほど担当から報告します。

#### 中竹教育長

それでは、行事報告及び行事予定の説明をお願いします。

#### ② 行事報告及び行事予定（課長説明）

##### 6月行事報告）

- ・ 6月 8日（金）～14日（木）6月期定例議会（議場他）  
文化財処分問題に係る和解等の議案について、関係者12名のうち和解の同意を得られた8名について、原案どおり可決していただきました。この8名につきましては、今後、和解契約書を締結しまして和解金を支払い、完全解決となります。4名につきましては、同じ和解条件で和解いただけるよう、弁護士を通じまして交渉していきます。
- ・ 6月15日（金）ALT講師選定プロポーザル審査（2階会議室）  
現在、JETによる英語講師の派遣を行っていましたが、小学校での外国語科授業導入等により、今年の8月から、学校現場のニーズに沿った英語講師を派遣するために、民間委託のためのプロポーザル審査を行いまして業者を決定しました。審査にあたっては、事務局、小学校校長、中学校教頭及び中部教育事務所からの職員派遣をいただき決定しました。なお、現在の講師につきましては、今年の7月で任期満了となります。

・ 6月27日(水)～28日(木) 義務教育学校先進地視察(八女市、大分市)

後ほど意見交換の場で意見ををお願いします。

\*大阪北部地震によるブロック塀の倒壊により、小学生が亡くなるという痛ましい事故が発生しました。本町でも、学校及び通学路点検の中で、中学校の駐輪場のブロック塀が、建築基準法を満たしていないことが判明しました。ブロック塀の高さは建築基準法を満たしていますが、控え壁が約10メートル間隔でしか設置されておらず、3、4メートル間隔で設置という基準を満たしていないものです。現在、立ち入りを禁止しており、校内の他の場所に駐輪するよう指導しています。なお、駐輪場につきましては、早急に改修等の安全対策工事を行うように準備を進めているところです。

#### 7月行事予定)

・ 7月 8日(日) 町民体力づくりスポーツ大会(グランドゴルフ)(山塚運動広場)

従前は、軟式野球を実施していましたが、参加チームの減少等もあり、本年度はじめてグランドゴルフを開催します。参加予定者は、約200名の参加予定となっています。

・ 7月10日(火) 第1回小中一貫教育あり方検討会(1階会議室)

小中学校長、教育委員、事務局の構成で、小中一貫教育に係る学校種の検討を行います。先進地研修等を踏まえまして協議してまいります。今後、このあり方検討委員会の中で議論したことを受けまして、教育委員会として学校種を決定し、総合教育会議において正式に決定したいと考えています。

・ 7月12日(木) 第2回教科用図書児湯郡採択地区協議会(西都市)

本年度、中学校用道徳の教科用図書選定を行います。この結果を踏まえまして、本町の教育委員会でも採択に係る教育委員会を開催しなければなりません。8月1日もしくは2日に開催したいと考えています。

・ 7月18日(水) 小中一貫教育推進研究会(木城中学校)

本年度の教職員の小中連携教育の取り組みとしまして、小中一貫教育の研究を行います。義務教育学校の先進地研修を踏まえまして、意見交換を行います。

・ 7月20日(金) 小中学校1学期終業式

翌日から小中学校において、夏季休業となります。

#### 8月行事予定)

・ 8月 8日(水) 児湯地方教育委員会夏季研修(高鍋町)

委員皆様の出席をお願いします。

中竹教育長

・日向新しき村100周年記念事業について説明をお願いします。

白岩係長

・6月29日に平成30年度第1向日向新しき村100周年記念事業実行委員会を開催しました。お手元の実施要項に基づき説明します。①記念文学碑をリバリス周辺と、石河内地区にそれぞれ設置します。②記念式典を11月10日(土)に開催します。内容は、次世代に実篤の理念等を継承していくものとして、小中学生の発表等も計画しています。③記念式典に併せまして、実篤ゆかりの作品等を展示する特別展を開催します。④町内に建立されている文学碑等を記したロードマップを作成します。

中竹教育長

・教育委員の皆様からのご意見等はありませんか。

原委員

・今回100周年記念事業を開催するにあたり、日向新しき村を観光地としての整備は必要ないでしょうか。

課長

・観光地としての位置づけ、定義づけの問題だと思います。広義の意味では観光地になるのですが、日向新しき村は学習的、歴史的側面をもった場所だと思います。実篤自身が自然と一体となって生活していくうえで、たどり着いた理想の場所と捉えて、その意義等を訪問された方々に理解してもらうような施設と考えます。

鳴海委員

・今回の100周年記念事業と観光地の整備等は切り離して考えるべきではないでしょうか。

小嶋補佐

・日向新しき村は利便性を追求する一般的な観光施設とは一線を画すべきだと思います。学習型、体験型の観光施設だと思います。

中竹教育長

・観光施設として日向新しき村のあり方については、今回の100周年記念事業を契機に松田省吾さんの意見を聞きながら、関係各課と協議していきたいと思います。

(3) 協議事項

中竹教育長

・今回は、協議事項はありませんので意見交換に移ります。

(4) 意見交換

中竹教育長

・小中一貫教育に係る先進地研修の報告をお願いします。

課長

・6月27日(水)～28日(木) 義務教育学校視察研修実施

(参加メンバー)

教育委員4名、小中学校校長、小中学校教務主任、教育長(28日のみ)、事務局3名  
計12名

●6月27日・・・福岡県八女市上陽北浜学園(児童生徒数174名)

・平成24年度から施設一体型校舎による小中一貫教育を開始し、平成29年度から学校種を義務教育学校へ変更した。義務教育学校への変更理由として、教職員の配置の平準化を挙げている。これは、小中一緒になることで9年間を見通した教育ができるのと、必要な学年に必要な教職員を重点的に充てられるとのことであった。特に低学年のうちにしっかりとした指導を行うことで、中、高学年になってから子どもたちに自ら取り組む姿勢がみられるとのことであった。小中学生が同じ校舎で生活することで、お互いが成長しているとのことであった。また、当初から施設一体型校舎による小中一貫教育を実施しているため、その施設を最大限に活かすためには義務教育学校制度がよいと判断していた。平成32年度には、同市内で新たな義務教育学校(矢部地区)が開校予定であった。

●6月28日・・・大分県大分市碩田学園(児童生徒数1044名)

・平成26年度から基本計画を策定し、校舎等の整備計画を開始した。平成29年度に義務教育学校として開校した。教室は、学年で広さを変えており、子どもの発達に応じたつくりになっていた。また、校舎自体が地震における津波避難所としての機能も完備し、非常食等が保管されていた。総工事費は、約73億円で、国庫補助金約10億円、地方債43億円、一般財源が20億円であった。教職員の校内人事については、義務教育学校のメリットとして、施設一体型校舎の利点を最大限に活かすために、小中学校の区別は行わず実施していた。これにより、教職員のモチベーションも上がり、チャレンジ力が向上したとのことであった。授業はノーチャイムで実施しており、また、各所に時計があるため、自分自身での判断や、低学年は高学年の動きを見て判断していた。

感想)

いずれの学校も施設一体型校舎によるメリットを最大限に活かした教育体系として実施していた。本町においても、小中1校ずつで隣接しており、老朽化に伴う校舎の建て替えや大規模改修が必要であるが、建設経費、その後の施設維持管理費を考えると施設一体型校舎が望ましいと考えます。また、小中一貫教育を実施するにあたり、施設一体型校舎の場合は、9年間を見通した子どもたちの教育過程において、義務教育学校制度導入が良いと感じました。また、施設整備については、財政的負担も考慮し、校舎棟を平

成32年度開校に向けて整備をし、附属施設については、以後年次的、計画的に実施していく方がよいと考えます。

**中竹教育長**

・説明が終わりました。ご意見、感想等をお願いします。

**原委員**

・私も説明された内容と同じように感じました。校舎建設にあたっては、斬新な計画でスッキリした建物を希望します。

**柄本委員**

・まず、碩田学園の校舎の素晴らしさに圧倒されました。現地の案内では、先生方とお話をしながら一緒に回れたのは良かったと思いました。義務教育学校だからといって県からの特別な配慮等は感じられませんでした。そうかといってそのことが義務教育学校を否定する理由にはなりません。八女市上陽北浜学園の校長先生が、低学年に必要な教職員を充てられることでそれ以後の学年で子どもたちの自主性が出てきたという点は納得できました。課題としては、小中学校の両方の教員免許を持っている教職員が少ないということであった。子どもたちの学びの環境としては素晴らしいと思いました。

**鳴海委員**

・施設については、児童生徒の規模から考えると碩田学園の校舎は大きすぎたので、八女市上陽北浜学園を参考にするのが良いと感じました。また、柄本委員からもありましたが、県の支援体制があまり感じられませんでした。また、施設整備については、今後の検討になりますが、すべての整備を一度にやっていくのがいいのかなと思いました。

**牛田委員**

・皆さんが言われた感想と同じです。児童生徒の規模も違いますが、目指すところは、碩田学園かなと思いました。学校種や校舎が新しくなることで、教職員だけでなく、子どもたちの意識も変わってくると感じました。また、5年生から算数など教科を教科担当制にしているとのことで、これが義務教育学校のメリットと感じました。宮崎県においても、小学校と中学校の両方の教員免許を持っている教職員が少ないということだったので、県に対してもそのような取り組みのお願いをしていく必要があるのではないかと感じました。

**課長**

・定例会を傍聴されている評価委員の2名に対し、義務教育学校及び小中一貫教育について説明を行った。

**中竹教育長**

・7月10日には、小中一貫教育あり方検討委員会も開催されますのでその時にご意見等をお願いします。引き続きまして、7月3日に開催されました木城小学校学校訪問につきまして、ご意見、ご感想をお願いします。

**牛田委員**

・義務教育学校の視察を行った後だったので、校舎の老朽化を感じました。子どもたちもちよっと元気がないように感じました。町が実施しています学力向上サポーター制度によるきめ細やかな指導には感心しました。

**鳴海委員**

・子どもたちが静かに感じました。どのクラスも真面目に授業を受けていたように思いました。少人数クラスによるきめ細やかな授業は、理解度を上げるためにも素晴らしいと思いました。この事業は、今後も継続して実施してほしいです。

**柄本委員**

・同じ学年で、クラスの雰囲気が違うと感じた学年がありました。算数における少人数クラス別指導法については、手厚い指導だなと感じました。

**原委員**

・この定例教育委員会も学校で開催し、その後、教育委員による学校訪問をしてもいいのかなと考えていますので、事務局で検討していただけないでしょうか。また、今回の学校訪問で、担任によって、クラスの雰囲気は変わってくると感じました。

**中竹教育長**

・以前、学校において定例の教育委員会を開催し、その後学校訪問を行った経緯がありますので、今後検討していきたいと思えます。

**柄本委員**

・1年生がしっかりノートをとっているのは感心しました。小学校前にある程度学習してきているのでしょうか。

**中竹教育長**

・基本的には、スタート時に名前が書けるだけで十分と考えていますが、就学前の家庭学習等について、学校の考え方を確認したいと思えます。

\*次回の定例教育委員会では、中学校の道徳科にかかる教科書選定の協議を行うことを確認した。

(5) 次回定例会日程

8月 1日(水) 9時00分から リバリス小会議室1

この会議録は、事実と相違ないことを証するため、ここに署名する。

木城町教育委員会

会議録署名委員

教育長 中竹 聖子

委員 柄本 奈津美